



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1053 回(9 月 1 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
第 2 副 S A A 小幡君、奥富君
卓話講師 狭山リトルシニア
(財)日本リトルシニア中学硬式野球協会
事務局長 須田昌司様

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	31名	85.71%	77.14%

会長の時間

江原会長



こんにちは。今日は、10月20日に高柳ガバナーの公式訪問が予定されておりますが、その日の例会はロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)の考え方に添ったクラブ討論会を行いたいと思っております。

ロータリアンは誰もがすでにその業種のリーダーですが、(RLI) Rotary Leadership Instituteは、さらにロータリアンとしてのリーダーシップも発揮してもらうための多地区合同プログラムで、草の根レベルの、少人数での自由討論を行うものです。

背景として、ロータリー創始後(1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生)100年以上経た今の時代は、社会構造の変化が進み、人や社会

に対する意識が変わり、事業や職業の世界が激変していること、そして、ロータリアン世代間の意識や感覚に大きなギャップが生じ、社会や文化に対する相互の認識や価値観に違いが出ており、ロータリー活動のあらゆる面で、複雑で矛盾した現象を呈しているため、そのような異なった面を埋めるためにも、相互理解の場を設け、今後のロータリーの発展に繋げていこう、ということがあります。

昨今、日本の会員数の減少傾向が止まらないそうです。本来のロータリーの姿を十分に理解されないまま去る人が多くいるという残念な事実も、そのような場を設けることの必要性に繋がっているものと考えられています。

私はまだRLIの研修を受けておらず、中途半端な知識でしかありませんので、満足できる内容になるかどうかは不安ですが、先週の理事会でも議題として取り上げ検討をしていただいた結果、本来ならば1~6まであるセッションですが、私共のクラブとしての検討課題を三点取り上げ、それぞれの課題に対し、リーダー・書記を含めたグループに分けて意見を述べていただきたいと思います。今年度、私の当クラブへの想いは全員参加型のクラブです。現在36名の会員の方がいらっしゃいますので、1グループ10名~12名を予定しております。詳細については来週までに発表できるようにしておきたいと思っておりますので、10月20日の例会は、予定表を今から空欄にしておいていただきますよう、宜しくお願いいたします。

因みに先程述べた6つのセッションとは何か、そして、どのような点に留意して討論会に参加したらよいのかをお話しします。

- セッション1 リーダーシップとは何か？その特徴
- セッション2 クラブを超えたロータリークラブと国際ロータリー
- セッション3 会員増強と退会防止
- セッション4 奉仕活動の計画と実行上の問題
- セッション5 ロータリー財団について考える
- セッション6 リーダーシップとチーム形成・クラブを活性化させる委員会構成

- ※自由にディスカッションに参加して下さい
- ※注意深く聞きましょう
- ※経験を自由に語り合きましょう
- ※本題から離れないように注意しましょう
- ※他人の発言に対して寛容に
- ※自分と違った視点に感謝しましょう
- ※発言は60秒以内にしましょう

幹事報告

小島幹事

(定例理事会) 次の件が審議・承認されました。

- (1) 9・10月プログラム承認
- (2) 吉澤会員の退会について
- (3) ガバナー公式訪問におけるR L I方式について
- (4) クラブ新ホームページ掲載事項について
 1. 地区より 2018-2019 年度ガバナー推薦の指名委員会の委員について
 2. 狭山ロータリークラブ・解散式について
 3. 2015年度 米山一日研修旅行について
 4. 行田ロータリークラブより「希望の風奨学金」チャリティーゴルフ・コンペについて
 5. コーディネーターニュース 2015年10月号 会員増強の事例報告
 6. 例会臨時変更 所沢中央 RC
 7. 受贈会報 入間 RC 所沢西 RC
 8. 回覧物 パストガバナー中井眞一郎様より 2013-2014年度(地区記念誌特別会計について)

委員会報告

R 情報・雑誌

浜野貴子委員

横ページの表紙は、パプアニューギニアの魚の群れだそうです。カマスの仲間(ブラックフィンバラクーダと呼ばれている種類)、体長は1mほどにもなるそうです。

縦ページの表紙は、徳島の阿波踊りの躍動感あふれる写真です。皆様ご存知でしょうか、これは皆ロータリアンの方が写真を撮って応募したものが採用されているので、是非皆様も良い写真が撮れたら応募して頂きたいと思います。

【横書き】

8頁には、「世界の女性会員の割合と1クラブ当たりの平均会員数」が載っております。日本を見て頂くと一目瞭然で、非常に女性会員が少ないです。私達クラブは優秀なのではないかと思いました。

11頁には色々なロータリーの例会が載っております。他のクラブでは、お食事は作ったものを出している等色々工夫されており、興味深かったです。

【縦書き】

9頁「わがまち、そしてロータリー」ということで、指宿のロータリークラブが指宿市の紹介をしております。とても良い所で、一度行ってみたいと興味深く読みました。

13頁友愛の広場では、小林会員という方が『「新会員の集い」に参加して』という記事を書いております。本音を書いているなと思いましたが、新会員の集いで講演される方々は口々に、例会に出席しましょう、例会を楽しみましょう、最初はわからなくても、三年続けると興味が湧いてきます等言うけれども、具体的にどうすれば楽しくなるのか、興味を持てるのかといった点については、どなたも話されなかったということです。懇親会ではロータリー歴の長い会員が固まって談笑している一方で、手持無沙汰の新会員の姿も目立つと書かれておまして、退会を防ぐ意味でも、新会員の方にはこちらから声をかけ、対応していかなければいけないと再度認識致しました。

26頁には、川越中央ロータリークラブで認知症サポーター養成講座の開催ということが書かれております。高齢化社会に向かう中、こうした講座と

いうものも皆さん非常に興味がある所ではないか
と思いますので、当クラブも参考にして開催する
のも良いのではないかと思います

「外来卓話」・・・・・・・・・・

狭山リトルシニア

(財)日本リトルシニア中学硬式野球協会
事務局長 須田昌司様



皆様こんにちは。

「リトルシニア」という形のなかで、説明をさせて
頂きます。

我々リトルシニアと言いますが、日本リトルシ
ニア中学硬式野球教室と申します。これは一つの
団体で、今中学生の硬式野球団体は四つあります。
一つは、ボーイズリーグです。この辺りではボーイ
ズリーグが一番聞きなれているのかと思います。
武蔵狭山ボーイズ、これが出来るきっかけという
のが、この前身が日高リトルシニアという我々の
仲間であったのですが、これが分裂を致しまして、
その時に同じリーグの中には入らないということ
で武蔵狭山ボーイズに入ったという形になります。
なぜ狭山がついたかと言いますと、最初は武蔵ボー
イズを作るとスタートしたのですが、狭山の子
が6~7人その当時おり、消防署にいた岡部さんが
事務局長をやるという形の中で、狭山を付ける
ということになりました。

我々狭山リトルシニアが発足したのが2000年
であります。この時に北関東支部長である内藤さん
が、各市1チームのリトルシニアチームを作
りたいという希望を町田市長に伝えました。そして
町田市長が小幡先生のところへ伺い、小幡先生が

狭山市の野球連盟、そして私の場合にはちょうど
我が子が高校野球を3年で終え、少年野球に戻
ろうとしていた時に発足という相談でした。シニア
を良く知っている私が事務局長をやらないかとい
うことで事務局長を受け、小幡先生が会長になり、
野球連盟の宮島さんが副会長になりという骨格が
できあがりしました。

監督・コーチをどうしようかという時に、当時驚
宮製作所の工場長をしておられました宮部さん
という方に吉田昭彦監督を推薦して頂きました。吉
田監督は経歴が素晴らしく、横浜商業の頃に甲子
園でベスト4、その後中央大学、驚宮東京の選手を
し、驚宮埼玉、そして驚宮埼玉の2代目の監督を
3年間されておられました。ちょうど我々が発足
をした時、驚宮製作所は驚宮埼玉と東京の2つの
社会人チームを持っておりましたが、驚宮埼玉を
ちょうど10年で廃部にするということで、驚宮の
道具を全て頂きながらスタートということになり
ました。

最初は12名の選手に来て頂き、宮部さんからは
7名の素晴らしい監督・コーチを出して頂きました。
そのため最初の1年は1対1といった形の中での
選手育成をすることができました。そして3年目
に監督・コーチを驚宮製作所の方にして頂いて
いるということで評判が良くなり、約40名近い団
員になりましたが驚宮製作所のグラウンドを借り
て行っていたのですが、その時に子供たちに少し
良い思いをさせてあげようと思い、そこで火を使
って煮炊きをしてしまいました。しかし企業の中
のグラウンドということでよくないという指摘を
受け、工場長に謝罪に行ったのですが、やはり
その中で、他にグラウンドも見つけれないのか
といった話も出てまいりました。

私自身がグラウンドを見つけるために狭山高
校やこの辺の高校を回りまして、グラウンドは
半日等借りられることになったのですが、今
までは驚宮の道具を借りていたので良かった
のですが、今度はマシン等が無い訳です。その
ためコーチが、それこそ一人200球、300
球と投げて、練習をするような形になってい
きました。その時小幡先生に、バッティング
マシンやボール等、なんとか先生の協力を
得られないかと相談させて頂きました。

その結果今ここにおられます方々の協力を得て、最初のマシーンを1台頂き開始したわけですが、そうしましたら今度はグラウンドがないということで、子供が減ってきてしまいました。どうにか子供を集めるためには、グラウンドを作らなければならぬということで、今の入間大橋の下の所がどうかならないかと、市やその当時お世話になっておりました諸口さんをお願いを致しまして、とにかくグラウンドを作りたいと話を持ってきました。すると狭山市の方も、奥富の焼却場から入間大橋まで、桜並木になる計画を持っておりましたため、グラウンドを作れるのではないかと話を頂きまして、諸口さんに川越土木事務所に行って頂き、市長さんを始め建設部長さん、そのような方々がお金をかけないでなんとかしようと思いがあって下さり、泥は狭山市の建築残土を集めてグラウンドを作ろうとスタートを致しました。

我々がお願い致しましたので野球だけで良いのだらうと思っておりましたら、そこに柏原の方でソフトをしておりましたチームが、朝の練習がうるさいという苦情がでていたようで、ソフトのグラウンドもできないかということになりました。すると今度はサッカーが、ちょうど昭代橋の下のグラウンドが潰れたのでここにサッカーのグラウンドもできないかということで、最初に思っていたような泥の高さではなく、今の少し低い形になったのですが、その中でグラウンドというものができる形になりました。すると今度は市役所が、簡単に言いますとお金をかけたくないということと併用して、管理を野球連盟、ソフト連盟、サッカー連盟に貸し与えるので、あとは好きにして下さいということになりました。あそこは更地でしたので、ダイヤモンドも何もできてなく、自分達でマウンドも全て作りました。そしてあのネットです。ネットも硬式の場合はどうしても外に出ると危ない、ぶつかれば怪我をするということで、とにかくネットも自分達で張ろうと、あれは全て私と宮島、二人で作った手作りネットです。なんとか形ができましたが、子供がまだ集まってこないのです。今度は、狭山は弱いという話になってしまいました。では何をしなければならぬのかというと、打たせなければいけない、そのためまたお願いを致し

ました。そしてまた小幡先生を始めここにおられる方々をお願いして、またマシーンを買って頂きました。

今では狭山シニアにはマシーンが6台あります。中学の硬式野球チームで6台持っているチームは他にはありません。そこまで皆さんの協力を得て、これからはとにかく強くしていかなければ子供は集まらないと、我々も今度は小学生の父母に、どうしたらうちのチームに入ってもらえるのかと考え、狭山市の6年生を対象にしまして、11月末から12月初めに、グラウンドを見てもらうということに致しました。大会ではなく、狭山市の少年野球チームに集まってもらい、その中で懇親を深めながら、こういう所があって、このようなことができるということを感じて下さいと、そしてそれには我々も努力をし、お昼は皆さんに食べてもらえるだけのものを作ろうと、200~300人分用意致しました。放送施設も作りましたそのため試合をすれば、アナウンスという形の中で、打順や守備位置等、放送できるようになっております。

狭山には公式の野球場はないけれども、我々の所にくればそのような環境の中で野球ができますということをお伝えしました。そしてちょうど3年前、ようやく狭山市の少年野球の人たちも分ってくれたのかなということと、それまでは狭山市の少年野球チームは、どの大会に出るにも単独チームで出場しており、そうするとどうしても負けてしまうのです。私の時代は、まだ子供も大勢いたので単独のチームでも勝てたのです。私の双子の子供がピッチャーとなり、その当時東京電力が主催しておりましたテプコカップという大会で、埼玉県の頂点に立たせて頂きました。その翌年は富士見・・・が優勝と、狭山は強かったのです。ところがその後子供が減り、1チームでは優勝が出来なくなりました。そして3年前にオール狭山という形が出ていけるような考え方に変え、そこである程度良い成績が残せました。

その子供たちが来てくれました。20人の中で10人来てくれました。それが我々の力になり、2年の秋の大会で関東大会に出られました。北関東で代表8チーム、そしてその代表に入り関東に出られまして、関東で42チームの大会が開催されました。そ

してそこで 19 チームになりますと、来年 3 月の大阪での選抜大会に出場できるのですが、16 に入り、日本選抜大会にすることができました。選抜大会では 1 回戦で負けてしまったのですが、小幡先生と小澤さんが大阪まで応援に来てくださいました。本当に嬉しかったです。このような中でやっつきながら、夏の北関東に優勝致しました。それによりまして、ここ数年毎年、23~25 人、入団してくれるようになりました。

夏の東日本には、昨年が札幌大会に出場し、今年は新潟の大会に出場するという形で、成果が出てきていると思っております。

8 月 19 日から 23 日までライオンズカップというものがありました。これは西武ライオンズが、埼玉県の硬式野球をしている全 4 団体の中で、一番強いチームを決めたいということで開催されました。昨年までは 2 月に 8 チームで行っており、我々シニアは既に 3 回制覇しておりますので、どのようにしてもシニアが強いと思っておりましたが、とにかくもう一度、ボーイズ、ポニー、ヤング、シニアの中で一番強いチームを作りたいということで開催されました。その内訳は、シニア 7 チーム、ボーイズ 7 チーム、ポニー 1 チーム、ヤング 1 チームの 16 です。1 回戦を行った時に、シニア 7 チームは 6 勝 1 敗でした。2 回戦は最終的にシニアが 3 チーム、ボーイズが 1 チームとなり、決勝はシニア同士、そして 1 位が浦和シニア、2 位が上尾シニア、3 位が狭山市シニアと所沢中央シニアという結果になりました。

シニアの場合に、我々はボランティアという考え方で、そして子供の育成ということで活動しております。道具にしても何にしても、硬式野球は高いのです。試合球が 1 個 1000 円です。練習ボールの安いもので 200 円~300 円です。そしてうちのグラウンドでは、市の方からの指導もありネットは 6m で行っているのですが、そうすると 1 試合に試合球が 6~7 個、川に落ちてしまい、一度落ちてしまうと試合には使えませんので、苦労しながら運営をしております。

一番今考えなければならず、困っていることは、グラウンドの脇に遊歩道ができました。その遊歩道ができたことによって、我々が試合をしている

ときには、いつでもそこにお父さんに笛を持って 3~4 人立って頂いております。歩いている人に 1 度でもぶつかってしまえば、もう硬式野球はできません。ぶつける事の無いように歩行者に注意して下さいとやっておりましたが、先日、言い方が悪い、態度が悪いと、そのようなことを市役所にクレームとして出されました。我々はごく普通に、注意をしながら対応していたつもりだったのですが、野球をやらない人にとっては邪魔なのかもしれません。しかし狭山市の場合にはグラウンドがありません。仲川市長がここで硬式野球をやって良いということで場所を作ってくれたのだと我々は思っているのですが、なかなかそのように理解をしてくれない人がいるのも事実です。

そのような中で、このロータリークラブの方々には初めからお世話になっており、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも我々も努力をしていきたいと思っておりますので、ご声援宜しくお願い致します。



ニコニコボックス

- 江原君 狭山リトルシニア事務局長、須田昌司様
本日はお忙しい中おいでいただきまして
ありがとうございます。卓話を楽しみに
しております、よろしく願い致します。
- 小島君 狭山リトルシニア事務局長、須田昌司様
ようこそおいでいただきました。卓話楽
しみにしておりました。
- 浜野君 狭山リトルシニア事務局長、須田昌司様
卓話楽しみにしています、よろしくお願
い致します。
- 松浦君 須田昌司様、今日の卓話楽しみにしてお
りました。よろしく願い致します。
- 益子君 狭山リトルシニア事務局長、須田昌司様
本日の卓話楽しみにしていました。よろ
しく願いします。
- 沼崎君 8月の一か月、お休みしました。オースト
ラリアのチロルと、ザルツカンマーゲー
トのハイキングを・・・女房孝行でした。
- 小幡君 狭山リトルシニア野球チーム、須田事務
局長様ようこそ当クラブへおいで下さ
いました。これからも狭山の青少年の育成
よろしく願いします。
- 小澤君 須田さんお忙しいところ、卓話に来て
いただきありがとうございます。
- 佐藤君 前回例会を欠席しました、すみません。
今日は狭山リトルシニアの須田様、大変
ご苦勞様です。本日の卓話よろしくお願
い致します。
- 柴田君 須田さん、本日はよろしく願いします。
- 会員誕生祝 松浦君 田端君
夫人誕生祝 江原君 栗原(成)君 沼崎君
結婚記念日 稲見君 松浦君

毎年恒例 尚寿会主催

地域交流フリーマーケット

開催日・・・10月17日(土)

雨天の場合は18日(日)

会場・・・尚寿会花とせせらぎ公園駐車場

時間・・・10:00~14:00



※ 次の例会

第2副SAA 佐々木君 柴田君

9月15日(火) 12:30~13:30

会員卓話 奥富喜平会員 石川 章会員